

# 建築人

2024  
10

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.724









# 建築人

2024.10 No.724

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「しらすぎ子ども図書館-詩の森-」2023年

第67回 大阪建築コンクール 渡辺節賞部門 渡辺節賞 受賞作品  
設計：ユカワデザインラポー級建築士事務所  
施工：ヴィーコ  
撮影：田中克昌

引退を迎える経営者が子供のための私設図書館・食堂を建て地域社会に貢献するプロジェクト。現代的なプログラムを、くの字平面の上に枝垂れた屋根を架けるシンプルな幾何学の重ね合わせによって、街と繋がり地域で子供達を育む居心地良い空間として実現した。

2 大阪浪漫

4 Gallery 建築作品紹介

「FULALIKYOBASHI」

設計：大和リース

施工：大和リース

「株式会社MST Holdings 本社工場」

設計：環創研/北條建築事務所

施工：ヒロタ建設

「川西市の共同住宅」

設計：藤本高志建築設計事務所

施工：吉本建設

7 動静レポート

8 Information

10 Topics

11 News of Note

14 記憶の建築

「国際文化会館」1955年

消去される街並みの記憶と歴史 / 松隈 洋

建築人 No.724 2024年10月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：武藤優哉 石上芳弘 荻窪伸彦 河崎太平

昇 勇 橋本頼幸 春岡須磨子

三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和6年10月1日発行

発行人：会長/岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

## 大阪浪漫

(1986年・ツイン21タワー)

写真・文 喜多 章

1986年ツイン21タワーが出来た頃、阪神高速を走行中に大阪城の後ろのタワーが角の様に見えた。

これは豊臣秀吉も全く想像出来なかった風景だったろうと思い、丁度良い位置に当時NHK大阪放送局があったので屋上からの撮影許可をお願いし、4X5カメラを担いで屋上に上がるや眼前にこの風景と真正面に遭遇・・・

ワクワクしながらシャッターを切った事を思い出す。



京橋駅前の商業施設解体跡地にて再開発事業開始までの期間、地域への賑わいを創出することを目的とした暫定施設である。歓楽街、ビジネス街の地域特性から着想を得たマテリアルイメージと暫定利用としての制約を融合させ、地域になじむデザインを目指した。外装は金属・ガラスなど素材本来の色味を基調とし、アクセントとして壁面緑化やポリカーボネートを加え、商業らしさを演出した。外構と一体利用するために折れ戸を採用し、軽量鉄骨造の柱をサッシと同材で仕上げることで存在感を消す計画とした。この「FULALIKYOBASHI」が京橋周辺の新たなスポットとして賑わいを見せることを期待している。

所在地：大阪市都島区片町  
用途：飲食店(フードコート)  
竣工：2023.12  
構造規模：鉄骨造  
平屋建て  
耐火建築物  
敷地面積：6,929.5㎡  
延床面積：477.58㎡  
写真：加藤大幹





クライアントは特殊金属溶接加工分野で高い技術を持つ企業である。古くは農村風景が広がったこの地域も、現在は物流の利便性の良さから多くの工場が農地や民家と混在している。そこに一石を投げ、視覚デザインにパブリック性を持たせることで風景に方針を与え、結果として企業価値を高めるような提案を考えた。本来工場は生産性や安全性が重要であり、出入りする人や物の流れが生み出す建築的变化は少ない。しかし設計の焦点を変えることで、敷地外との関わりを積極的に持とうとしたことが本計画の特筆すべき点であると考えている。エキスパンドメタルは試作実験を繰り返し、季節や時刻による空間変化を意図した。

所在地：大阪府岸和田市  
用途：工場  
竣工：2024.07  
構造規模：鉄骨造  
地上2階  
敷地面積：626.02㎡  
建築面積：375.84㎡  
延床面積：563.83㎡  
写真：笹の倉舎／  
笹倉洋平



建築地は、工場と住宅が混在する地域にあり、阪急福知山線に隣接・伊丹空港に近接した賑やかな場所です。建物は、周辺の住宅や平屋工場、倉庫群のスケールに合わせて、2階建てメゾネット型の6世帯共同住宅としました。不動産ポータルサイトの条件に縛られることなく、「条件」よりも「空間の心地良さ」を最優先に考えた強い建築を目指しました。屋根のない中庭を通して各住戸にアクセスし、さらに各住戸ごとに専用の中庭を設けたコートハウス型の設計です。リビングには、㎡数にカウントされない吹き抜けを設け、心地よさを重視。中庭を挟んでドーナツ状に住戸を配置し、6つの異なるプランを通じて、多様な暮らしを楽しんでいたできるように工夫しました。

所在地：兵庫県川西市  
用途：共同住宅  
竣工：2024.06  
構造規模：W造(在来工法)  
地上2階  
敷地面積：437.28㎡  
建築面積：223.59㎡  
延床面積：409.07㎡  
写真：高橋栄生写真事務所



# 動静レポート

## 会長動静

- 8/27 大阪府収用委員会
- 9/ 1 北海道建築士会・高野元会長面談
- 9/ 5 香港工業総会・日本建築材料協会・  
本会の3者覚書締結
- 9/ 6 淡輪山荘事業現地調査
- 9/ 7 大阪府建築士事務所協会・市岡元  
副会長黄綬褒章受章祝賀会
- 9/ 9 大阪府収用委員会事務局協議
- 9/11 日本建築士会連合会正副会長会議
- 9/12 大阪府収用委員会
- 9/17 わたしの考える万博パビリオン  
デザインコンクール打合せ  
(在阪4団体会長・大阪工業大学)
- 9/18 寝屋川市長面談、理事会
- 9/20 豊中市長面談  
建築紛争セミナー(弁護士会共催)
- 9/24 大阪府収用委員会  
四條畷市長面談、枚方市長面談
- 9/25 堺市建築都市局長面談  
近畿会長会議、近畿建築士会協議会

## 会長・役員による大阪府及び市町村訪問

◎ 9/18 寝屋川市・広瀬慶輔市長と面談



左より/牧田専務理事、田中理事、岡本会長、広瀬市長、上田副会長

◎ 9/20 豊中市・長内繁樹市長と面談



左より/牧田専務理事、石貫副会長、岡本会長、長内市長、宮田理事

◎ 9/24 四條畷市・東修平市長と面談



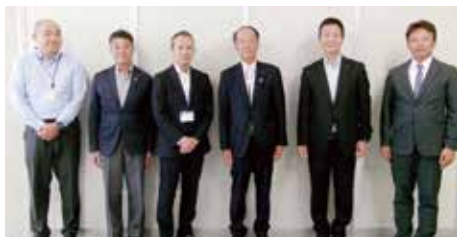
左より/牧田専務理事、田中理事、東市長、岡本会長、徳岡副会長

◎ 9/24 枚方市・伏見隆市長と面談



左より/小山副市長、牧田専務理事、徳岡副会長、伏見市長、岡本会長、田中理事

◎ 9/25 堺市・休場理夫建築都市局長と面談



左より/角田部長、牧田専務理事、休場建築都市局長、岡本会長、上田副会長、石川理事

## 9月度 理事会報告

日時 9月18日(水) 16:00～18:00

場所 本会東会議室

出席 理事 42/47名 監事 1/2名

(1) 入退会の承認

(人)	8月	入会	退会
正会員	2,182	4	6
準会員	27	0	1
特準会員	21	0	0
賛助会員	142	0	0
計	2,372	4	7

(2) 会計報告

(円)	8月計	累計
収入	2,716,856	85,366,183
支出	9,134,411	54,705,572
差引	△ 6,417,555	30,660,611

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 省エネ法改正のサポート体制進捗

大阪府と本会及び大阪府建築士事務所協会並びに近畿建築確認検査協会と協議を行い、本会が幹事会として体制確立を進めます。本会会員を対象に適判資格者や構造・省エネに精通したサポート員を10名程度公募することを承認しました。併せて、3団体によるサポート事業に関する覚書の締結を承認し、以後3団体での運営調整を経て来年1月にサポート業務を開始します。

(4) 全国大会「鹿児島・大阪」の進捗

①鹿児島大会での大阪大会アピール  
式典と大交流会でのアピールや大阪ブースで使用する各種アイテムを紹介し、大阪参加者には次回主管する立場で視察していただくよう要望しました。

②大阪大会の企画

記念講演はクリスチャン・サンダー・チェルシッチ氏並びに大阪企画講演は橋爪紳也氏にご承引いただき、大阪企画講演としてもうお一人に交渉中です。これにより祭的な催事に終始せず大会テーマと連動した建築士の研鑽に役立つプログラム構成を強調しています。

(5) 貝塚寺内町第2次まちなみ調査支援業務  
貝塚市教育委員会に標記調査業務の受託に係る仕様書と調査積算費用を申請することを承認しました。

(6) 近畿建築確認検査協会からの要望

同協会の在阪建築15団体への参画要望書の提出に先立ち、本会に当該推薦者の支援要請があり、これを承認しました。

## 香港工業総会・日本建築材料協会との覚書締結

9月5日、リーガロイヤルホテル大阪で香港工業総会、日本建築材料協会と本会は、香港と大阪・関西地域間の貿易と経済協力を促進することを目的としたMOU(覚書)を締結し、その調印式を行いました。



岡本会長、チョウ副議長、松本会長

## 建築士会からのお知らせ

### 【WEB版】確認申請のプロ養成講座 初級編

8/1～10/31 CPD3単位

なかなか教えてもらえなかった確認申請。その基本を知るだけで、あなたは確認申請のプロと呼ばれる。訂正項目が少なく、審査がしやすい申請図面が作成できれば建築着工も安心!常に変化している確認申請の世界。住宅の省エネ適合義務化や4号特例の縮小、そして申請のデジタル化による電子申請などの最新事情がわかる。

★フォローアップ付き!

受講者の皆様には確認申請書の書き方等に関する質問に対応いたします。

※2024年2月28日に実施した同名の講習会と5～7月に配信した同名講座と同内容です。  
視聴期間 8/1(木)10:00～10/31(木)終日  
配信方法 WEB講習

受講料 建築士会会員:6,000円  
後援団体会員:6,500円  
一般:7,000円

主催 (一社)近畿建築確認検査協会

共催 (公社)大阪府建築士会

### 令和6年度 建築士定期講習

11/20、12/13、1/22、2/4、3/27 CPD6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和3年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

※2/4(火) 大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義

日程・会場・定員

11/20(水)大阪府建築健保会館 90名

※12/13(金)大阪府建築健保会館 90名

1/22(水)大阪府建築健保会館 90名

3/27(木)大阪府建築健保会館 90名  
※の日程 大阪府建築士会が運営  
※以外の日程 大阪府建築士事務所協会が運営  
注)各回定員に達し次第、受付を終了します。  
時間 9:15～17:00(各講習日共)  
受講料 12,980円(消費税含。事前入金)  
申込 下記URLよりお申込みください。  
インターネット申込みができない方は、大阪府建築士会HPの定期講習の案内をご確認ください。

[https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off\\_teiki/index.html](https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off_teiki/index.html)

### 令和6年度 監理技術者講習

10/23、11/21、1/15、3/7 CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日時 10/23(水)、11/21(木)、1/15(水)、3/7(金)  
8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPより

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

### (仮称) 淀屋橋駅東プロジェクト 建築技術講習会

11/6 CPD3単位

(仮称)淀屋橋駅東プロジェクト・淀屋橋駅東地区都市再生事業は、淀屋橋地区で最高となる高さ約150mの複合ビルを建設し、大阪の新たなランドマーク形成を目指す計画です。超高層ビルの工事に直接携わる設計者と施工者から説明いただき、現在建設が進行中の現場をご案内いただける貴重な機会です。

日時 11/6(水) 13:00～16:30

集合受付13:00(時間厳守)  
集合 オリックス淀屋橋ビル1階  
(大阪市中央区北浜3丁目5-22)  
(淀屋橋駅13番出口(京阪電車)すぐ)  
定員 30名(申込先着順)  
受講料 建築士会会員:3,000円  
後援団体会員:4,000円

### 令和6年度 地域文化遺産のガイド人材育成講座(全3日間)

CPD全14単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け地域の町並みや文化遺産を案内するガイド人材の育成を目的とします。大阪の歴史や地域的特性についての理解を深めながら、ガイドとして必要な知識・スキルを身につけます。あなたもガイド活動を通じて、大阪の文化遺産の魅力を伝えていきませんか。

日時 11/10(日)、11/24(日)、12/22(日)  
10:00～17:00

講師 天野景太・和泉大樹・小林卓司  
仁木宏・橋爪節也・船越幹央

会場 詳細は本会HP参照

定員 20名(申込先着順)

受講料 本会会員および大阪府ヘリテージマネージャー6,000円(全3回)、一般7,500円

申込 10月7日(月)10時より受付開始予定。申込は本会HPより。

### 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)

12/3 CPD5単位

本講習会は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断・改修の補助を受けることができる技術者の養成を目的としています。講習の修了者名簿は大阪府内の市町村等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等からの問合せに活用します。

日時 12/3(火) 10:00～15:50

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 会員5,000円、一般9,000円

テキスト代 7,300円





Informationの詳細及び申込みは大阪府建築士会ホームページに掲載しています。  
<http://www.aba-osakafu.or.jp/> メール [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)  
 TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

## 第67回大阪建築コンクール受賞者講演会+トークセッション

10/11 CPD2単位

本コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。第67回は6作品が受賞し、これを記念して受賞者講演会をいたします。受賞作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。

日時 10/11(金) 18:30~21:15

会場 大阪工業大学梅田キャンパス203  
 大阪市北区茶屋町1-45

参加費 無料(申込不要)

## 立命館大学 大阪いばらきキャンパス 新展開施設H棟 建築技術講習会

10/22 CPD3単位

立命館大学大阪いばらきキャンパス新展開施設H棟は、社会に新たな価値を創出し続ける実証実験の場「TRY FIELD」として2024年4月に誕生しました。建設に携われた設計者と施工者から、実現への取組や建物に込められた想いをお話いただき、施設をご案内いただきます。

日時 10/22(火) 13:00~16:30

集合受付13:00(時間厳守)

会場 立命館大学 大阪いばらきキャンパス  
 (JR茨木駅より徒歩15分、阪急南茨木駅より徒歩10分)

定員 30名(申込先着順)

受講料 建築士会会員:3,000円

後援団体会員:4,000円

一般:5,000円、学生:1,000円

## 第1回 どんぐりと森

「森を知ろう!! 親子で楽しむ山あそび。」

11/3

神於山(こうのやま)に登りながら、どんぐり拾いや山あそびを通して、森を考え、森を守ることに楽しく学びます(山頂で昼食)。ひろったどんぐりを苗ポットに植えて、参加者に持ち帰って頂きます。無事に育った苗木は

2~3年後に神於山に帰したいと思います。山から帰った後も「発芽するかな」と楽しんでください。

日時 11/3(日) 10:00~15:00(集合9:45)

場所 神於山

集合 道の駅「愛彩ランド」

岸和田市岸の丘町3-6-18

対象 小学生(保護者同伴)

参加費 無料 小雨決行

※お弁当・飲物・軍手・雨具をご持参ください  
 詳細は参加証にてお知らせします。

定員 先着順10組

協力 神於山保全くらぶ

## 第19回国際企画海外研修旅行

「タイ国 微笑みの国で微笑もう!」

2/20~25 CPD申請予定

今回はタイ国の北部チェンマイからスコタイ、アユタヤ、バンコクと巡ります。詳細は未定の部分もありますが、仮予約を受け付けております。仮予約に申し込まれた方には、後日詳細が決まり次第お知らせいたします。

日時 2/20(木)~25(火) (5泊6日)

定員 15名

参加費 25万円(※予定)

仮予約については事務局までご連絡ください。

## 行政からのお知らせ

### 「新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズ」募集

大阪府・市が事務局を務める新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会では、北陸新幹線やリニア中央新幹線の全線開業等に備えた新たなまちづくりをさらに盛り上げるため、「新大阪駅エリアまちづくりのキャッチフレーズ」を募集中です。

募集期間 9/9(月)~10/15(火)

使用目的 新大阪駅エリアのまちづくりをPRする各種広報媒体等に使用

表彰数 ・最優秀賞1点(キャッチフレーズとして使用)(副賞:商品券3万円分と大阪・関西万博ペア入場券)

・優秀賞2点程度(副賞:商品券1万円分)

応募先 大阪都市計画局 拠点開発室 広域拠点開発課 北エリアグループ(TEL:06-6210-9327)

[https://www.pref.osaka.lg.jp/o140030/daitoshimachi/shin-osaka/shin-osaka\\_catchphrase.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o140030/daitoshimachi/shin-osaka/shin-osaka_catchphrase.html)

## その他のお知らせ

### 建築構造用鋼材と利用技術セミナー

11/7

一般社団法人日本鉄鋼連盟では健全なる鉄骨造建築の普及活動として、2014年度から「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」を開催しております。今回は最新の研究成果や世の中の動向を踏まえて、建築構造用鋼材の利用技術、新工法等に関する5つのテーマについて、実務的・実践的に解説いたします。

日時 11/7(木) 13:30~16:40

会場 マイドームおおさか

参加費 無料(申込先着順)

申込 一般社団法人日本鉄鋼連盟

<https://www.jisf.or.jp/info/event/kenchiku/2024.html>

### 地盤工学会関西支部

#### 第15回若手セミナー

11/22

シニア世代土木技術者のボランティア組織であるCVV(Civil Veterans&Volunteers)で活動されている2名の方をお招きし、これまでの業務等で得られた経験や知見についてご講演いただきます。若手を主な対象としていますが、どなたでもご参加いただけます。

日時 11/22(金) 14:00~16:30

場所 ドーンセンター大会議室2 + Zoom

定員 会場50名 + Zoom

参加料 会員2,200円、同(若手)無料

非会員4,400円、同(学生)1,100円

申込 (公社)地盤工学会関西支部

[http://www.jgskb.jp/list\\_form/](http://www.jgskb.jp/list_form/)

## 一級建築士試験製図試験課題類似施設見学会

日程：令和6年8月27日(火)

会場：大阪工業大学梅田キャンパス(OIT梅田タワー)

参加者：21名

一級建築士試験で苦勞した経験というのは、多くの会員の方が共有する事だと思います。平成21年に試験制度が大きく変わり、製図試験では記述式の問題が加わりました。令和2年からは、受験資格が緩和され製図試験は受験者数の増加の傾向もあって、益々要求図面の精度が高くなってきています。

また、近年発表される試験課題は、単純な建物の用途名称で出題される事が多いですが、単純故に本試験で想定される建物の条件範囲が広いことと、課題に対してパズル的な納まりで考えるのではなく、より実情に沿った建築構成が求められています。

その様な傾向から製図試験課題の類似建物見学というのは、受験者にとって参考になり、近年は課題発表後に受験者の多くが類似施設に訪問し、トラブルになっています。また、見学を企画する側としては7月末に試験課題が発表されてから受験者の学習期間を考え

ると、8月中に見学を実施する事が望ましく、非常にタイトな企画運営となりますが、青年女性委員会では、昨年から一級建築士製図試験の課題類似施設見学を実施し、士会活動の認知と交流、受験生と施設とのトラブル回避に努めています。

今年度の試験課題は『大学』という出題で敷地条件、建物規模や用途は様々です。個人的な考えですが、近年の社会情勢を勘案すると、地域社会に開かれ、学生と地域が交流する場や、生涯学習、災害の拠点、そして多様性や省エネ等が求められると思います。大阪工業大学梅田キャンパスは、都市型の高層キャンパスで、建物の規模は試験範囲を超過しますが、その用途は先に述べた条件が多く含まれ、急なお願いでしたが、大学と建築学科の寺地教授のご厚意で見学会を実施する事が出来ました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。お盆の時期に重なり、参加者

中北 力(青年女性委員会副委員長)



の募集期間は一週間と短い間でしたが、定員を上回る申し込みが有り、受験者の期待は大きかったと思います。

来年以降も課題施設の見学を実施して行きたいと思いますが、前述の通り課題発表後に見学先を探し、交渉、広報、募集活動を実施する非常に厳しい企画です。来年度も7月に一級、二級製図試験の課題発表が行われるかと思いますが、会員の皆様の中で試験課題とよく似た施設のご紹介を頂けましたら、今後とも継続していけるかと思っておりますので、ご協力よろしくお祈りいたします。



## 建築相談室から(88) 繰り返される相談 その1

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

本会の建築相談には何度も電話をしに来る相談者がいます。相談員は相談受付に入る前に、あるいは相談時間中の電話ない時間に過去の記録に一通り目を通しますので、電話内容で気づく場合もありますが、相談者側も微妙に名前や相談内容を変えることもあるため気づかずに新規相談として処理されている場合もあります。今月と来月の2回にわたって何度も繰り返される相談をご紹介します。

市に紹介された業者の工事費は妥当か?

「水道管に水漏れがあり市に紹介された業者に来てもらった。工事完了後工事費が高いのではと別の人に言われた。金額は決まっているのか、値引きは可能か。」が最初の相談。「金額が事前に提示されているのであれば値引きは難しいのでは?消費者センターに相談してはどうか?」と答えています。2日後「組合による公認業者による水道管の水漏れ対応工事。ガス漏れによる漏水検査3万、1回目配

管20万、直らず2回目配管7万円、コンクリート撤去復旧5万、これらは高いと思う。市にも相談するが取り合ってもらえない」と再度相談。「市の相談室に相談しては?納得の上で支払える分はまず支払って相談しては?」と回答しています。さらに5日後2回目の相談だ(本当は3回目)という言い方で「1回で直らなかったのは業者の問題では?市に聞いても回答が不明瞭」と相談。「本屋さんで積算資料などで自分で調べるか大阪府設備設計事務所協会に相談コーナーがあるようなので聞いてみては?」と回答して、3回の相談で終わっていました。

雨漏れは直してもらえるのか?

「外壁の塗り替え、樋の部分交換、平屋部分をガルバリウム鋼板で改修、雨漏れした。屋根施工した業者に補修工事をやってもらえるか?」という相談。相談員は「弁護士さんに相談してください。原因がわからないのでは

んとも言えない。」と回答しています。さらに3日後「リフォームで玄関の屋根をガルバリウム鋼板に変えたが雨漏れした。雨が原因で応接室の壁が落ちた。施工業者に補修させたいが工務店が既に倒産している。当時の屋根業者に連絡するが来てくれない。屋根業者に補修させたい。」との再相談。「元請けが倒産している現状では責任所在が不明。弁護士も建築士もいるADR(民間総合調停センターで和解あっせん手続き)という手もある。」と答えています。

繰り返される相談には

この2件の相談は、短期間に複数回相談が繰り返されています。1回の相談で満足する回答が得られなかったと言う理由もあるかもしれませんが、相談者もうまく相談内容を伝えられていなかったということもありそうです。見えない相手と電話だけでのやりとりでは、なかなか難しいことが伝わります。



## 大阪の美しい景観の魅力をお届けする「映える大阪プロジェクト」



大阪府 都市整備部 住宅建築局 建築環境課 主事 浦手郁佳

大阪府は三方を山に囲まれ、西には大阪湾を中心とした自然が身近に感じられる地形の中で、近畿圏の中心として経済発展してきました。大阪の景観は、都心部の大都市景観のみならず、少し離れた郊外地域の田園風景までも併せ持つ非常に多彩な魅力にあふれたものとなっています。

また、古代の歴史資源から近代的な景観資源など多種多様なものが積み重なりあうコラージュ都市としての景観を形成し、歴史や自然が育む魅力的な風景に出逢えます。

### 『ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト』とは

本府では、自然などの眺めの良い場所だけでなく、旧街道や宿場町などの歴史的景観や美しい街並みを眺めることができる場所等を含めて「ビュースポット」と定義づけ、このような景観資源を府民自らが発掘し、大阪府が積極的に発信することで、景観に対する府民意識や愛着、シビックプライドを醸成し、府域全体の良好な景観形成につなげていくことを狙いとし、『ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト』を進めています。

『ビュースポットおおさか』のご紹介令和元年から令和6年まで計4回にわたる募集を経て、府内100か所を「ビュースポットおおさか」として選定しています。ここでは紙面の都合上、3か所をご紹介します。府内全100か所の情報を知りたい場合は、本府のホームページでご確認ください。



木津川水門を眺める落合上渡船  
(大阪市大正区)



日根荘の田園風景を眺める  
日根荘大木の里コスモス園(泉佐野市)



全100か所を紹介する公式ガイドブックを発刊! 公共施設でご覧いただけるほか、府政情報センターで販売しています。

### 新たな取組

#### 『映(ば)える大阪プロジェクト』

多くの方が大阪を訪れる 2025 大阪・関西万博に向けて、府や市町村、関係機関等が一体となって、大阪の景観魅力を知り、巡り、体感できる様々なイベントを展開・発信する「映える大阪プロジェクト」を令和6年10月より開始いたしました。

## 映える大阪プロジェクト

#### 【各イベントのテーマ】

- ①大阪の景観を“知ろう”  
景観パネル展、シンポジウム等
- ②大阪の景観を“巡ろう”  
フォトコンテスト、スタンプラリー等
- ③大阪の景観を“体感しよう”  
建築物特別公開・見学会、まちあるき等



勝ちダルマと大自然を眺める勝尾寺  
(箕面市)

本府においても、プロジェクトの一環として、ビュースポットおおさかを対象としたフォトコンテスト(R6.10~R6.11)、デジタルスタンプラリー(R6.10~R7.2)を開催します!

また、大阪府建築士会にもプロジェクトにご参画いただき、今後、まちあるきイベント等も実施予定です。

関係団体の皆様とともに、万博が閉会する令和7年10月まで、景観を楽しむ様々なイベントが開催されます。各イベント詳細情報については、府webサイトやインスタグラムで随時配信します。大阪の美しい景観を、どうぞお楽しみください。



映える大阪プロジェクト  
特設サイトは  
左のQRコードより

### 大阪府公式 景観インスタグラム

美しい景観を眺めることのできる場所=絶好の“映える”写真撮影スポットです。現在、本府では、SNS(インスタグラム)を活用し、大阪の景観魅力を精力的に発信しています。



インスタグラム投稿画像

右のQRコードから、インスタグラムをフォローしていただけたら幸いです。日々更新される景観写真の数々をご覧ください。



OSAKA\_LANDSCAPE

### 今後の取組について

2025年、いよいよ大阪・関西万博が開催されます。大阪の魅力を全世界に発信するチャンスです。景観の魅力も積極的にPRしていきます。ご期待ください。

## 耐震インスペクション委員会の紹介



耐震インスペクション委員会 委員長 西野智子



社会貢献部門の耐震インスペクション委員会は、耐震とインスペクション及び行政への業務支援等を主に行っている委員会です。本会の登録耐震診断者及び登録インスペクターとして登録された技術者をとりまとめ、業務の内容向上や円滑に進めるための運営をしています。また、セミナーや出前講座への講師・相談員の派遣依頼の対応、技術者資質向上のための勉強会企画等行っています。

### ○耐震について

各市町村からの木造住宅耐震診断の診断者紹介依頼に対して派遣をしています。そして建築相談等において一般の方からの耐震関連の相談で耐震診断を依頼される場合にも対応しています。震災等が発災した時などは、特に相談や診断依頼が増えてくる傾向にあります。

耐震診断において、本会では原則2人体制で業務を行っています。未経験者や経験の浅い人は経験のある人と組んで経験を積む機会を設けています。

現地調査を行い、耐震診断報告書を作成後、結果報告の前に2名の評価員による妥当性の第三者評価を行っています。報告内容に不整合なところはないか、依頼者にわかりやすい内容になっているか等をチェックし、疑義についての指摘、回答を求めています。その上で、依頼者に報告をすることになっています。

診断者は耐震診断報告書の診断結果や現地写真及び診断者の診断根拠や判断基準・

考察等である総合所見により、現状の住宅の耐震性についての報告をします。そして耐震改修を行う場合の改修方法や市町村の補助金についても説明し、ご要望により耐震改修設計・耐震補強工事へと進んでいくことになります。

診断者が業務をするために、勉強会や情報共有・情報交換を通して研鑽を積む機会を設けています。

現時点では木造住宅耐震診断を意匠設計者が中心になって行っていますが、今後は混構造や非木造への対応も求められていますので、構造設計者との連携を図っていく予定です。

耐震関連では勉強会の企画や耐震診断の大阪府及び府内市町村の見解の情報収集や整理等を行うために、委員有志におけるグループ会議で協議しています。

### ○インスペクションについて

中古物件売買時など、不動産業者や一般の方からの既存住宅状況調査（インスペクション）の依頼に対して、既存住宅状況調査技術者（インスペクター）の派遣を行います。

既存住宅状況調査についても耐震診断と同様に2人体制で調査を行い、2名の評価員による第三者評価という流れで行っています。オプションとして瑕疵保証や給排水管路調査・床下+白蟻調査・木造耐震診断等にも対応しています。

各市町村からの空き家等対策審議会等の委員派遣依頼について取りまとめを行い、市町

村が開催する空き家の相談会への相談員派遣等にも対応しています。

その他、既存住宅状況調査技術者講習（新規・更新）の開催や、法律改正等の情報提供・共有、調査の実務に関する理解増進のための登録インスペクター向け勉強会企画を行っています。

### ○業務支援について

各市町村から業務支援の依頼に対して本会として対応し、空き家に対する業務支援等については本委員会が担当しています。

市町村からの特定空家等立入調査・不良住宅判定調査・空家等対策協議会運営支援等々委託業務に対して登録インスペクター派遣等の支援を行っています。

以上のような業務への技術者派遣は本会の登録耐震診断者及び登録インスペクターへの登録が必須です。登録には対象講習を受講済であることやその他いくつかの要件がありますが、関心のある方はぜひお問合せください。

連絡先：06-6947-1961（担当：隅原）



勉強会風景



## シニアサロンの紹介



シニアサロン 委員長 一本久次

60歳以上の会員有志が中心に、幹事としてシニアサロンの運営を行っています。

現在、担当副会長、部門長を含め34名で構成しています。現役を引退された方々や今もなお現役で活躍されておられるシニア層が主力メンバーで活動しています。

建築士会シニア層の会員が気軽に参加できる見学会、セミナー等を企画し、開催しています。新しい専門知識や技術を取得することに特化するのではなく、建築を取りまく文化や芸術面などにも触れることができるイベントを企画、開催することに重きをおいています。毎月の幹事会は会議だけにとどまらず、仕事のこと、長年の経験や趣味、文化面等について語りあい、発表することで、各々のスキルアップにもつながり、会員同士の親睦を深める社交場的な集まりになることを目指しています。

幹事会にはWeb参加はもちろんのこと、60歳未満の方でも活動に賛同いただける方なら年齢に関係なくご参加いただけます。

### ◆活動内容

#### 【建築物・町並み等の見学会の開催】

新旧を問わず見学したい建物、訪れたい街など、じっくりと見て歩き、話をお聴きする企画です。過去に訪れたことがある所もありますが、時間がたてばまた違った見方ができることもありシニアサロンとして特色のある見学会を開催しています。



武庫川女子大学甲子園会館見学会

#### 【文化、芸能の知識見識のスキルアップ】

「建築」に直接でなくても関係の深い、文化、芸術面をあらためて知ろうという企画です。令和6年からは「上方文化を詠みとく」シリーズを開催しています。

上方（関西）の文化や伝統芸能に注目し、概要を知るセミナー、施設見学、観賞等の内容を盛り込んだものです。上方歌舞伎、上方落語にふれる企画を開催致しました。



後列中央：歌舞伎俳優・中村翫政氏

プロの歌舞伎俳優さん、落語家さんをお招きしてお話をお聴きし、その後劇場に出向き実際に観賞するという内容でした。

今後は能楽、文楽、狂言などの企画も検討しています。



上方落語セミナー：三代目林家菊丸氏

#### 【健康セミナー】

「食文化を知る」建築士会全国大会静岡大会にあわせて「静岡の食文化」をテーマに開催し、シニアサロンにとっては初めてのWeb開催のセミナーとなりました。

静岡県立大学名誉教授新井映子先生にお話をお願いしました。

「健康」はシニア層にとって身近で、切っても切れない問題であり今後も継続して取り上げていきたいテーマと考えています。

#### 【仕事、趣味、好きなこと何でもトーク】

シニアサロン幹事会の冒頭30分程度の時間を使って、テーマも自由に自らのことをお話いただく時間を設けています。情報交換や親睦をより深めながら自分たちのスキルアップにもつながるコーナーです。

仕事という面では、建築系の同業仲間ではありませんが、趣味や好きなことになると意外と思えるようなこともあり、千差万別です。仕事の関係以外で興味が湧いてきたとか、思わぬつながりを発見することもあります。シニア層の一般会員さんに、この時間だけでも気軽に参加していただける「集いの場」にすることを目標としています。まずは自分達からと、この活動を続けています。



シニアサロン幹事会

## 消去される街並みの記憶と歴史

国際文化会館 一九五五年

文・写真 松隈 洋〔神奈川県立神奈川大学建築学専攻教授〕

二〇二四年六月初旬、東京都港区六本木にある国際文化会館を久方ぶりに訪ねる機会があった。訪れると、そこには、新緑の眩しい日本庭園と独特な透明感を持つ簡素なたたずまいが交わり、都会の隠れ家のようなひっそりとした静かな時間だけが流れている。旧・岩崎小弥太郎の跡地に残る名造園家の小川治兵衛の手がけた日本庭園と、坂倉準三、前川國男、吉村順三の唯一の共同設計による建築が織りなす風景に心洗

われる人も多いだろう。筆者にとっても、一九八二年二月二六日に催された前川國男の著書『一建築家の信条』の出版記念会から四〇年以上にわたり、各種のパーティーやシンポジウム、友人の結婚式などで度々訪れた懐かしい思い出の場所のひとつである。けれど、ここ数年は、訪れるたびに、いつまでこの穏やかな風景があるのだろうか、と陰鬱な気持ちにも襲われてきた。そして、ついに、



南東から見る本館、地下食堂、新館棟



新館棟1階の図書室と事務室外観

四月八日、東京都により「六本木五丁目西地区第一種市街地再開発事業」の都市計画決定が公示されて、いよいよ来年二〇二五年度から工事が始まること、周囲の街並みが劇的な変貌を遂げることが明らかとなった。公表された計画の内容を見て、その破格の大きさに頭がクラクラするほどの驚愕を覚える。再開発されるのは、西北角の六本木の交差点を起点に、北側の外苑東通り、西側の芋洗坂から環状第三号線、東側の鳥居坂の街路に囲まれた広大な既存の市街地であり、地区全体の敷地面積は、約一〇・一ヘクタール（十万一千㎡）に及ぶ。しかも、D街区と呼ばれる地区に建つ国際文化会館だけを残して、周囲に建つ既存の建築はすべて跡形もなく取り壊される。ちなみに、国際文化会館の敷地面積は約一万一千㎡であり、再開発地区全体の約五分の一に過ぎない。逆に言えば、わずか五年という短期間の建設工事によって、既存の街並みの九割が忽然と姿を消し、その中の片隅に一割だけが孤島のようにポツンと取り残されることになるのだ。また、国際文化会館の建物も、敷地の一部が売却され、一九五五年の竣工時の姿をとどめる講堂と、一九七六年に前川國男の設計で増築された打込みタイルの外壁に包まれた新館棟は、再開発に飲み込まれるかたちで解体される。そのため、ここに掲載する写真の風景は姿を消すことになる。さらに、二〇三〇年度の完成を目指す超高層ビル二棟を含む建築群の延床面積は、約一〇八万六千六百㎡であり、約六千七百㎡の国際文化会館の一六二倍もの規模となる。そして、地区全体の

シンボルとなる超高層ビルの二棟は、地上六六階、高さ三二七mのホテル・事務所棟と、地上七〇階、高さ二八八mの共同住宅棟であり、日本庭園と調和する低層のほど良いスケールの地上四階、軒高十七・五六mの国際文化会館を見下ろすように聳え立つことになる。何よりも驚いたのは、おそらく史上初となる試みだろう、四周を街路に囲まれた計画地の全体が、そのまま一つの建造物として、小高い人工地盤の丘のように建ち上がることだ。公開された資料には、「広大な敷地を一体的に緑で覆う立体的な屋上庭園（約二六、〇〇〇㎡）の整備により、国際文化会館の庭園と連なる、緑豊か度とまとまったオープンスペースを創出」と謳われている。だが、その最上部は、地上五階建ての屋上上面であり、地上にある国際文化会館の日本庭園とは完全に隔絶された空中庭園と呼ぶべき性格のものだ。しかも、広大な屋上庭園の下には、地下鉄の六本木駅と直結する「駅まち広場」と名づけられた巨大なガラス張りのアトリウムが広がり、建物の内部を車道が縦横に貫き、バスやタクシーの乗降場が設けられる。

〇二二年に制定された都市再生特別措置法に基づく内閣の政令により、「緊急整備地域」の「都市再生特別地区」に指定されたことを法的な根拠にして推し進められているのだ。この都市計画の特例措置によって、「既存の用途地域等に基づく用途、容積率等の規制」を「適用除外」とした上で、「自由度の高い計画を定めることができる」ようになり、その結果、斜線制限も適用されず、建蔽率と容積率の最高限度や高さの最高限度などを自由に決定できる。さらに、道路の上空に建築物を建てることも可能となっているのである。しかも、東京都の基本方針には、「事業者の総意工夫を最大限発揮するため、事業者提案を基本とする」、「特別な審査検討体制により、手続を迅速に処理する」、「一律的な規準によらず、一件ごとに個別審査を実施する」と明記されている。事業者にフリーハンドの提案権が与えられているのだ。それでは、こうして推し進められる再開発の目的とは何なのか。それは、都市再生特別措置法に掲げられた「都市の国際競争力の強化」に沿って提案された「文化・交流・宿泊機能等の整備」と「外国人就業者、居住者に対応する国際水準の居住機能の整備」という。そこには、閑静な住宅地と東洋英和女学院などが商業地とほどよく混在する六本木という街の記憶も歴史も消し去られ、わずか五年という事業の危うい性急さと二度と改築のできない将来的な不安を抱え持つ、富裕層に特化した一塊の巨大建築が出現する。都市は誰のものなのか。孤島のように取り残される国際文化会館は、繰り返しのことを問い続けるに違いない。



## 水の喜びを、 次の時代にも。

人と水とのよりよい関係に、  
環境との調和は欠かせません。  
SANEIでは心地よく使える  
プロダクトの開発をはじめ、  
環境負荷を抑えた  
ものづくりを行っています。  
またSDGsの目標に対応し、  
生産から働き方まで、  
この時代だけでなく、  
次の時代にも水の喜びを引き継ぐ  
行動に日々取り組んでいます。

ALWAYS WITH JOY  
SANEI







南外観：くの字の平面に枝垂れた屋根がかかる構成。内部の楽しい様子が街に伝わることで、地域で子供達を育む雰囲気醸成する。



1Fホール：大きな屋根の下に内外連続した居心地のいい居場所を作った。屋根は地面の柔らかな反射光を2Fに導く。